



# 専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

## 4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

### (1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	74	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	81	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	72	人	受験率(③/②)	88.9	%
④ ③のうち合格者数	70	人	合格率(④/③)	97.2	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	68	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	0	人			

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含まない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

### (2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		74	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員		人		
	2 非正社員、派遣社員		人		
	3 その他の就業(自営業等)		人		
	4 非就業	74	人	74	②B: 非就業者計
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ		人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる		人		
	3 社内外の評価が高まる		人		
	4 円滑な転職に役立つ		人		
	5 趣味・教養に役立つ		人		
	6 その他の効果		人		
	7 特に効果はない		人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	9	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 希望の職種・業界で就職できる	64	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる		人		
	4 趣味・教養に役立つ	1	人		
	5 その他の効果		人		
	6 特に効果はない		人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	69	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した		人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した		人		
	4 就職していない	5	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	38	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足	34	人		
	3 どちらとも言えない	2	人		
	4 やや不満		人		
	5 大いに不満		人		

## 5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	単位毎の学科試験、技術試験等
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

# 専門実践教育訓練明示書

<b>6. 受講効果の把握方法</b>																							
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験・進級試験等の具体的な基準)	出席率66%(2/3)以上、試験合格率得点率70%以上で合格、補講・追試は認める																						
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	ペーパーテスト、演習及び課題提出																						
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	出席率66%(2/3)以上、試験合格率得点率70%以上で合格、補講・追試は認める																						
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	卒業単位を満たし卒業試験合格																						
<b>7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法</b>																							
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	クラス担当が質問や相談を受け、個別で指導をしている。																						
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の人事情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	国家試験対策を定期的に行っている。 随時、随時相談を受け付けている。																						
<b>8. その他の事項</b>																							
指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人 鉄蕉館	(代表者名: 理事長 橋本 裕二)																					
住所及び連絡先	千葉県鴨川市横渚462	TEL 04-7099-1211																					
施設名称及び施設長名	亀田医療技術専門学校	(施設長: 学校長 大塚 伊佐夫)																					
住所及び連絡先	千葉県鴨川市東町1343-4	TEL 04-7099-1205																					
苦情受付者	氏名 松下 泰久 所属 事務室	事務担当者	氏名 鈴木 早智 所属 事務室																				
連絡先	TEL 04-7099-1205	連絡先	TEL 04-7099-1205																				
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		1,590,000 円																				
支払い方法	① 一括払	① 入 学 料 ( 税 込 額 ) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	150,000 円																				
	② 分割払	② 受 講 料 ( 税 込 額 ) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 50%;">第1期</td><td style="width: 20%;">240,000</td><td style="width: 30%;">円</td></tr> <tr><td>第2期</td><td>240,000</td><td>円</td></tr> <tr><td>第3期</td><td>240,000</td><td>円</td></tr> <tr><td>第4期</td><td>240,000</td><td>円</td></tr> <tr><td>第5期</td><td>240,000</td><td>円</td></tr> <tr><td>第6期</td><td>240,000</td><td>円</td></tr> <tr><td colspan="3" style="text-align: center;">(うち、必須教材費 円)</td></tr> </table>	第1期	240,000	円	第2期	240,000	円	第3期	240,000	円	第4期	240,000	円	第5期	240,000	円	第6期	240,000	円	(うち、必須教材費 円)	
第1期	240,000	円																					
第2期	240,000	円																					
第3期	240,000	円																					
第4期	240,000	円																					
第5期	240,000	円																					
第6期	240,000	円																					
(うち、必須教材費 円)																							
③ 両方可	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		1,372,861 円																				
	① 任意の教材費(税込額)		155,861 円																				
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		円																				
	③ 施設維持費(税込額)		600,000 円																				
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)		617,000 円																				
	3. 総額 (1+2) (税込額)		2,962,861 円																				

# 看護学科 教科カリキュラム

◆教科カリキュラムの単位数及び時間数

内容		科目	配当年次	単位数	時間数	
基礎分野	科学的思考の基盤	情報科学(情報通信/統計処理)	1	1	30	
		哲学	1	1	30	
		心理学	1	1	30	
		論理学	1	1	30	
	人間と生活・社会の理解	生活健康科学	1	1	15	
		人間関係論(コミュニケーション/カウンセリング)	1	1	30	
		環境学	1	1	15	
		家族社会学	1	1	30	
		宗教学	1	1	15	
		倫理学	1	1	30	
		教育学	2	1	30	
		体育	2	1	15	
		外国語 I (語学)	1	1	15	
		外国語 II (国際交流)	2	1	30	
小計				14	345	
専門基礎分野	人体の構造と機能	栄養学	1	1	15	
		生化学	1	1	15	
		解剖学	1	2	45	
		生理学	1	2	45	
	疾病の成り立ちと回復の促進	疾病治療論 I (微生物学・病理学・薬理学)	1	2	60	
		疾病治療論 II (口腔機能障害/消化機能障害:外科・内科)	1	1	30	
		疾病治療論 III (腎・排泄機能障害と体液の障害/生殖機能障害:女性・男性)	1	1	30	
		疾病治療論 IV (運動機能の障害/運動機能の障害:脊椎/リハビリテーション)	1	1	30	
		疾病治療論 V (免疫・造血機能の障害/内分泌・代謝機能の障害)	2	1	30	
		疾病治療論 VI (呼吸機能の障害/循環機能の障害)	2	1	30	
		疾病治療論 VII (中枢神経機能障害/感覚機能障害:眼科/感覚機能障害:耳鼻科/皮膚機能障害)	2	1	30	
		疾病治療論 VIII (小児疾患)	2	1	30	
		疾病治療論 IX (精神疾患)	2	1	30	
	健康支援と社会福祉	公衆衛生学	1	2	45	
		関係法規	1	2	45	
		社会保障制度(社会保障・社会福祉)	1	2	45	
		小計				22
	専門分野	基礎看護学	基礎看護学 I (看護学概論)	1	1	30
			基礎看護学 II (感染予防/安全管理)	1	1	30
			基礎看護学 III (ヘルスアセスメント)	1	2	60
			基礎看護学 IV (生活環境/活動・睡眠)	1	1	30
			基礎看護学 V (清潔・衣生活)	1	1	30
基礎看護学 VI (食事/排泄)			1	1	30	
基礎看護学 VII (与薬)			2	1	30	
基礎看護学 VIII (診察・検査・治療・処置)			2	1	30	
基礎看護学 IX (救命救急/ME機器)			2	1	30	
基礎看護学 X (看護過程/看護研究)			2	1	30	

内容		科目	配当年次	単位数	時間数
地域・在宅看護論		地域・在宅看護論 I (暮らしの理解)	1	1	15
		地域・在宅看護論 II (暮らしの場の探求)	1	1	15
		地域・在宅看護論 III (総論)	1	1	30
		地域・在宅看護論 IV (地域で暮らす人々の生活を支える看護)	2	1	30
		地域・在宅看護論 V (病気をもちながら地域で暮らす人々の医療処置と看護)	2	2	45
		成人看護学	成人看護学 I (総論)	1	1
成人看護学 II (消化吸収機能障害/排泄機能障害/性生殖機能障害)	1	1	30		
成人看護学 III (運動機能障害/リハビリテーション)	1	1	30		
成人看護学 IV (生体防御機能障害/内分泌機能障害/代謝機能障害)	2	1	30		
成人看護学 V (呼吸器/循環器)	2	1	30		
成人看護学 VI (中枢神経機能障害/感覚機能障害)	2	1	30		
老年看護学		老年看護学 I (総論)	1	1	30
		老年看護学 II (援助論1)	2	1	15
		老年看護学 III (援助論2)	2	2	45
小児看護学		小児看護学 I (総論)	1	1	30
		小児看護学 II (援助論1)	2	1	30
		小児看護学 III (援助論2/在宅支援・心身障害)	2	2	45
母性看護学		母性看護学 I (総論)	1	1	30
		母性看護学 II (援助論1/ハイリスク妊娠・分娩)	2	2	60
		母性看護学 III (援助論2)	2	1	30
精神看護学		精神看護学 I (総論)	1	1	30
		精神看護学 II (援助論1)	2	2	60
		精神看護学 III (援助論2)	2	1	15
看護の統合と実践		看護の統合 I (看護管理)	2	1	15
		看護の統合 II (災害看護/国際看護)	2	1	30
		看護の統合 III (臨床判断能力)	2	1	30
		看護の統合 IV (多職種連携)	2	1	15
臨地実習		基礎看護学実習 I	1	1	45
		基礎看護学実習 II	2	2	90
		地域・在宅看護論実習 I	3	2	90
		地域・在宅看護論実習 II	3	2	90
		地域・在宅看護論実習 III	3	2	90
		高度急性期実習	3	2	90
		急性期・回復期実習	3	2	90
		慢性期・終末期実習	3	2	90
		小児看護学実習	3	2	90
		母性看護学実習	3	2	90
精神看護学実習	3	2	90		
統合実習	3	2	90		
小計				66	2,190
総合計				102	3,090